

## 第5回 一宮西部地区かわまちづくり協議会 議事概要

### 1. 日時

2026年2月18日（水）14:00～15:30

### 2. 出席者

別紙のとおり

### 3. 議題

- ・規約の一部変更について
- ・かわまちづくり計画登録報告
- ・今後の取り組みについて

### 4. 議事概要

#### ■第1部：協議会議事

##### (1) 規約の一部変更について

変更内容：

- ・第1条(目的)：「かわまちづくり基本計画を策定し、取り組みを推進するため」を追加
- ・第5条(議事録の公表)：協議会終了後、議事録を作成し市ウェブサイトに掲載することを追加
- ・挙手多数により承認

##### (2) かわまちづくり計画登録報告

登録状況：

- ・2025年8月1日に「一宮西部地区かわまちづくり計画」および「木曾川中流域自転車をつなぐかわまちづくり計画」の2計画が登録。

##### (3) 今後の取り組みについて

- ・富田山公園（水辺拠点）の整備スケジュールの共有
- ・都市・地域再生等利用区域指定に向けて、来年度以降、協議会を開催し社会実験を通じて地域の合意形成を図る
- ・北方広場にトレーラーハウスを2026年度春に設置し、サイクリスト向け休憩ポイントや社会実験・イベント企画を予定している。
- ・富田山公園官民連携事業（Park-PFI）の進捗状況について共有

#### ■第2部：名古屋市立大学学生による発表

##### (1) 発表趣旨

- ・名古屋市立大学より、富田山公園の再整備に向けた提案が行われた。
- ・本提案は、Park-PFI 事業を契機として、公園単体ではなく河川空間を含めた一

体的な利活用を図り、地域や利用者とともに将来の風景を創出することを目的としたものである。

- ・提案では、非日常的な賑わいではなく、日常的に親しまれる風景の形成を重視し、既存環境や構造物を活かしながら空間価値を高める考え方が示された。
- ・具体的には、堤防上の視点場整備や高架下空間の活用など、小規模な整備により滞在性や回遊性を向上させる手法が提案された。
- ・その後、提案内容を踏まえた意見交換が行われ、今後の計画検討における参考とすることが確認された。

## 5. 主な意見（抄）

### ■第1部

・ハード整備は順次進行中。ソフト面、特に都市地域再生等利用区域の指定について協議していく。社会実験やイベント企画・運営を検討していく必要がある。

### ■第2部

- ・Park-PFI とかわまちづくりを一体的に検討することで、相乗効果が期待される。
- ・地域や利用者を巻き込んだ検討プロセスが重要である。
- ・魅力ある空間形成には、一定のチャレンジが必要である。
- ・日常的に利用され、地域に愛される場所づくりが重要である。
- ・ハード整備とあわせて、利用しやすい仕組みや参加しやすい環境づくりが求められる。